



発行日：2005年4月1日
 発行：宮城県民間非営利活動プラザ
 編集：NPO法人杜の伝言板ゆるる
 〒983-0851
 宮城県仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地
 TEL：022-256-0505
 FAX：022-256-0533
 E-mail:plaza@miyagi-npo.gr.jp
 http://www.miyagi-npo.gr.jp/

「One to One」は、県内各地でのさまざまなNPO活動により、ひととひとが信頼でつながって、よりよい市民社会が形成されるよう願いを込めたニュースレターです。



今年度もいろいろ活動しました ~ みやぎNPOプラザ町内会活動発表会

3月6日(日)みやぎNPOプラザ入居団体等で構成されるNPOプラザ町内会による活動発表会が開催されました。

10団体が、それぞれ10分という限られた時間内で、1年間の事業や活動を発表しました。中には、ビデオで報告した団体の活動に、涙する参加者の光景も見受けられました。

発表の中間にティータイムを設け、普段あまり機会のなかった交流や情報交換が行なわれました。これから団体を法人化するために参加した方が、名刺交換や個別に話を聞いたりする



といった姿もありました。

実際にさまざまな分野の活動の話を知ると、NPO活動の幅の広さを実感でき、このプラザを拠点に、どの団体も充実した活動を展開している様子が伺えました。

1年に1回のこの活動発表会を開催することは、互いの活動について理解しあう機会であることが確認されました。

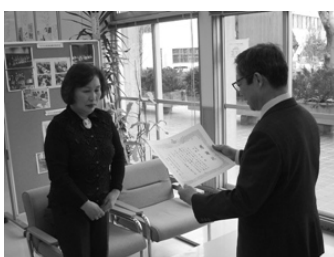
初めて参加した方からは、「今日の発表会は、私どもの団体活動に大変参考になりました。さらに、これから連携したい団体も見付けることができました」との意見がありました。

参加団体(発表順)

NPO法人チャレンジドネットワークみやぎ ユニバーサルファッション工房繕 NPO法人宮城県断酒会
 NPO法人杜の伝言板ゆるる 東北HIVコミュニケーションズ CAP♥みやぎ NPO法人経営体質改善サポート宮城
 みやぎヒューマンライフの会 (社) 呆け老人を抱える家族の会 NPO法人アイケア福祉サービス
 笑いの出前研究部 みやぎ笑夢プロジェクト(資料のみ)

1年間ありがとうございました ~ 交流サロンの生け花に感謝状

みやぎNPOプラザは、これまで、おもてなしの心で来館者をお迎えするため、玄関には草花を、受付では笑顔を、サロンにはお茶を用意し、くつろいだ雰囲気の中でNPO活動に触れて頂けるよう心掛けてきました。



さらに、昨年2月依頼、子どもの頃から近所に住んでおられる小原流仙台支部(宮城野ブロック)の加藤光朝さんによって、プラ

ザ交流サロンに年間を通し四季折々の生け花を展示していただき、プラザの利用者からは、「サロンには、和やかな雰囲気がありますね」と大変喜ばれております。



感謝をこめて、3月10日(木)プラザから加藤光朝さんに感謝状が渡されました。加藤さんは、「私も、人の和をモットーに活動しております。プラザに来て生け花を見た人が、心豊かになるように、また癒しさを伝えることが出来れば」と、話されておりました。

みやぎNPOプラザ事業「NPO地域協働実践事業」 防災のネットワークづくりフォーラム

もっと住みやすく考えてみようよ、 ぼくたちのまち、わたしたちのまち

災害時における緊急対応の仕組みづくり～

「地域情報サロンしろいし」市民運営委員会 委員長 丸山勝寿

この事業は、宮城沖地震と同規模の地震が、高い確率で発生することが確実視されている中、災害に強い地域社会を目差し、その対応策について、さぐることにあります。

1月30日の防災のネットワークづくりフォーラムに先だって、西益岡自治会の地域住民と子供たちが中心となって学習会等を実施しました。

昨年9月12日の「地域防災について考える」学習会では、災害時における災害ボランティアセンターの必要性とその役割、行政とボランティアの役割、自律的な地域社会づくり、について話し合われました。その中で、常日頃から地域のネットワークづくりが必要だとの意見が多く出されました。

11月14日、「防災マップづくりについて」と題した学習会では、防災マップづくりの意義や手法について学びました。

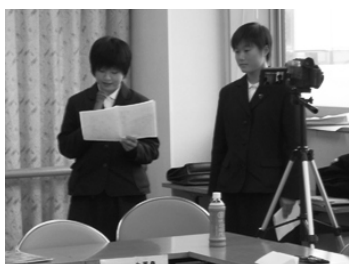
12月12日の「防災マップづくり探検ツアー」では、小学生とPTA、地域住民が26名参加し、役割分担（リ-ダ-、記録係、地図係、写真係、発見係）や調査項目（危険箇所、避難場所、災害

時の役に立つもの）を決め、モデル地区「西益岡地域」の調査や、防災マップを作成しました。子供たちからは、「自分たちの住んでいるところを、改めて見直す機会となったね」との感想がありました。そして、1月30日、地域のネットワークづくりを目指し「防災のネットワークづくりフォーラム」を開催しました。このフォーラムには、78名が参加し、行政や各関連機関のそれぞれの役割や取り組みについて意見交換をしました。



第1部では、小学生5人が、モデル地区の住民の方々と一緒に作った防災マップを使い、地域

防災の取り組みを発表しました。この防災マップは、危険と思われる箇所の写真と危険度を3段階に色分けした情報量豊かなものでした。元気はつらつの小学生による発表に、参加者から「今の子どもたちの説明は素晴らしい」「私たちの地区にも、あのようなマップがあればいいのね。これから、小学生と一緒にマップを作ることにしよう」といった声がありました。



日時 平成17年1月30日(日)
 場所 生協セラビ白石店集会室
 企画 「地域情報サロンしろいし」市民運営委員会



第2部の意見交換会では、白石市生活環境課、社会福祉協議会、知的障害児施設、消防署、みやぎ生協、高校生5名から10分ずつの話題提供がありました。



特に高校生からは、地域社会における高校生の役割、緊急連絡網の整備、災害時に開放できるよ



う体育館などの備えの充実、災害時のマニュアルの作成や校内の掲示、年一回の避難訓練の見直しと地域住民と

の訓練、他の高校への呼びかけや連携(仙南の高校の防災の取り組みの実態調査・改善すべき点の検討)等の具体的な提案がありました。モデル地区では、これから、防災マップをさらに完成度の高いものにするときに、行政や関連機関との連携のもと、防災の訓練を強化することにしております。今回のモデル地区で行った事業結果を、地域住民と子供たちとNPOとの連携の成功事例とし、他地区へも波及させたいと考えています。



NPOプラザ窓口からみる市民活動の状況

県内でも合併や行政改革が進み、地方の枠組みが再編されています。それに伴う地方での市民活動の様子がこの窓口からも伺うことができます。相談に訪れる方や電話の質問の中に、指定管理者制度のことを知りたい、お母さん方の社会参加のための法人を立ち上げたい、地域づくりのための団体を組織したいなど明確に目的を示されることが多くなっています。また、地域自治を学ぶ団体もあり、活動助成金申請のための検索をお手伝いしたりしています。中には、行政のサービスが届きにくくなるのではないかと、先行して動き出した障害児をもつお母さん方の会もありました。

現在、法人認証された団体335。(3月現在)このうち約70%が仙台と仙台圏に集中し

ている現状ですが、地方振興事務所単位でのNPO法人の空白域はなくなりました。平成10年に特定非営利活動促進法が施行されてから丸6年、この1年間で80団体ものNPO法人が誕生し、しだいに加速してきているのがわかります。

窓口では、たくさんのエネルギーをもつ方々との出会いがあります。それも今までにない先駆的で、なるほどとうなずくようなNPOのサービスに出会えます。このみやぎNPOプラザは、みなさまの活動が少しでも動きやすくなるために存在しています。ご活用いただければ幸いです。

NPOインキュベーターアドバイザー(相談員) 小玉順子

プラザからのお知らせ

これからのNPOプラザの管理運営について

4月1日から、特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるるが、指定管理者となり「みやぎNPOプラザ」の管理運営を行います。県民の皆様のご利用に関して、今後とも公平性を確保しながら、サービスの向上に努めてまいります。



主な業務は、次の通りです。

- (1) NPO活動促進拠点施設の管理、運営に関する業務
- (2) NPOの運営一般に関する相談及び研修
- (3) NPOの税務・会計に関する相談及び研修の開催
- (4) NPO・ボランティアに関する情報収集と発信
- (5) プラザ内の共有スペースを活用した各種交流イベントの企画・運営
- (6) 事務ブース、会議室等の使用許可に関する業務

みなさん、こんにちは！

特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるるは、この4月1日からみやぎNPOプラザの指定管理者になります。

「指定管理者」といってもあまり知られていないようですので、これまでの経緯をお知らせします。

2003年6月に地方自治法が改正され、自治体が所有する施設の管理を、「直営」か民間が担う「指定管理者」になるかを選択することになりました。施行が始まったのは2003年の9月です。

県内では、仙台市の「のびすく仙台」の管理運営にいち早く制度を取り入れ、NPO法人が指定管理者になっています。

宮城県では、昨年の6月に指定管理者に関する手続き条例が可決し、昨年秋には宮城県の施設では最初に「みやぎNPOプラザ」が指定管理者制度に移行することになりました。

私たち法人は、公募に応じ、選考委員会の選考により指定管理者候補となり、3月18日の議会で指定管理者団体に決まっています。

現在は、宮城県NPO活動促進室との間で、協定書を結ぶ段取りが進められています。

ところで、私たち特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるるをどのくらいの方々をご存知でしょうか？ここで少し当団体のご紹介をさせていただきます。

設立時から毎月みやぎのボランティア・市民活動情報誌「月刊ゆるる」を発行し続け9年目。今年の9月には100号を迎えます。発行部数8000部のフリーペーパーとして県内450ヶ所に送られています。中には8ページにもわたり、講座やイベント、ボランティア募集などの情報がいっぱい、多くの情報の受発信を担っています。

こんなことから4年前にみやぎのNPO支援拠点として開館した「みやぎNPOプラザ」の情報機能のひとつ、みやぎのNPO支援webサイト「みやぎNPO情報ネット」の運用を受託しています。

また、昨年4月からは、自由に使える交流サロンや時間貸しする会議室などの運営を受託しています。

この経験が、今回の指定管理者に結びついたものと思っています。

現在、新スタッフもNPOが活動しやすい環境づくりに取り組もうと一生懸命研修中です。

皆さんの活動を応援していきますので、これまで同様、NPOプラザをご利用、ご活用くださいますようお願いしております。

特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
代表理事 大久保 朝江

4月の催し

2日	土	植林ボランティア説明会(14:00~) 主催:地球夢くらぶ TEL:022-295-4068	22日	金	福祉研修会「障害者の地域生活について」 主催:NPO法人チャレンジドネットワークみやぎ TEL:022-256-2801
9日 16日	土	決算・税務申告実務セミナー 主催:NPO法人経営体質改善サポート宮城 TEL:022-742-2858	24日	日	無料相談会(13:00~) 主催:宮城県マンション管理士会 TEL:022-218-2003